

# 震災がれきの受け入れ

## 5市町で説明会開催へ

### 県議会全協で 焼却灰処分先、近く合意



東日本大震災で発生した  
がれきの受け入れに向け、  
県は二十七日の県議会全員  
協議会で、県内五市町で今  
後、住民説明会を開くと発  
表した。課題となっていた  
焼却灰処分先の確保につい  
ては、鈴木英敬知事が近く  
合意に至ることを示唆し  
た。

の聞き取りに対して実施  
の意思を表明した。ただ、  
尾鷲、熊野両市は、最終処  
分先が確定した後と回答。  
名張、伊賀両市は伊賀南部  
環境衛生組合で廃棄物を共  
同処理しており、同組合で  
の受け入れを検討してい  
る。

鈴木知事は岩手、宮城両  
県との調整状況に関し、岩  
手県が七月初旬にも三重県  
に処理を要請するがれきの  
量を発表すると明かした。  
最終処分場の確保に向けて  
は、「相手方もあり、公表  
できない」としながらも、  
「早いうちに具体的にお示  
しできる」と、自信をのぞ  
かせた。

住民説明会が開かれるの  
は、名張▽伊賀▽多気▽尾  
鷲▽熊野―の五市町で、県  
がれきの受け入れに向け  
た対応を説明する鈴木知  
事（中央）＝県議会議事  
堂で

また「両県からは、引き  
続き協力してほしいと要請  
されている」と語り、広域  
処理は必要だと主張。「被  
災地は立ち上がろうとして  
いる。しっかり支えていか  
なければならぬ」と訴え  
た。試験焼却の時期につい  
ては、全協終了後の取材に  
「（最終処分場の確保を）  
終えた後、なるべく早くや  
りたい」と答えた。